



風はみどり

コミュニティ・スクール
福津市立福間中学校
学校通信(No.47)
文責 教頭 藤岡
令和6年2月15日



生徒会リーダー研修会



10日(土)、生徒会役員を対象に、リーダー研修会(第3回)を実施しました。

今回のテーマは「よりよい話し合いの技術、ファシリテーションを学ぼう」です。講師に「津屋崎ランチ」代表の山口覚さんをお招きしました。生徒会役員には、学校生活の様々な場面で、アイデアの創出や企画力が求められます。そのとき、みんなで本質を探究する「対話」が必要です。(「はい、論破」ではありません。)

研修の中では、「新しく専門委員会をつくるとしたら・・・」をテーマに、「ワールド・カフェ」という手法を用いて話し合いました。生徒たちからユニークな発想、斬新なアイデアが飛び出すとともに、小学校の委員会活動の経験に基づく現実的な提案など、様々に飛び交いました。誰も「だめ」、「NG」、「それは無理」は言いません。

「そんな考えもあるなあ。」「わたしは、こう思うけどなあ。」等、自分の意見を押し付けない「対話」を体験的に学んだ生徒会役員に、これからの福間中を託します。1,200人で、NEO福間中を創造しよう。



【講師の山口 覚さん(左)】



【アイデアを創出し、共有する】



【先生も一緒に話し合う】

大和2区文化祭

2月10日(土)、11日(日)に、大和公民館にて、第8回大和2区文化祭が開催されました。本文化祭では、展示作品の発表の他、イベントとしてオカリナやギター演奏、フラダンスなどの演技がありました。その中で、本校の吹奏楽部が招待され、演奏を披露しました。会場の関係で選抜メンバーでの参加でしたが、会場を大いに盛り上げてくれました。参加された地域の方には、「若い力に元気をもらいました。素晴らしい。」と、お褒めの言葉をいただきました。



【吹奏楽部のメンバーによる演奏】

2年 松本颯太さん **最優秀賞**受賞! 「社会を明るくする運動」作文



【宗像保護区保護司会の方と】

法務省が進める「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を作るための全国的な運動です。

この運動の中でも、「“社会を明るくする運動”作文コンテスト」は、全国の小・中学生を対象に、日頃の生活経験もとに、犯罪や非行のない地域社会づくりなどについて、考えたことや感じたことを作文にする取組です。この取組で、本校の2年1組の松本颯太さんが、本コンテストに作文を出品し、宗像地区で**最優秀賞**を受賞しました。写真は、宗像保護区保護司会の方が来校され、表彰を行ったときの様子です。松本さん、おめでとうございます。

